



柏の葉だより



市川市立第五中学校
第11号 令和3年3月12日

「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

第74回卒業証書授与式



準備された卒業式会場

3月12日（金）卒業式において卒業生に以下の話をしました。（内容は抜粋）

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

本日の卒業にあたり、皆さんに送りたい言葉があります。

『耐雪梅花麗』これは、「雪に耐えて、梅花麗し」と読みます。この言葉は、西郷隆盛が甥っ子の門出の際に送った漢詩の一節です。意味は、梅の花は冬の厳しい寒さを耐え忍ぶことで、春に美しい花を咲かせる。という意味です。つまり、苦難や試練を耐えて乗り越えれば、その先に大きく、見事な成長が待っている。というたとえです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、皆さんの学校生活は、大きな影響を受けました。長きにわたる休校で、友だちと会えない孤独な日々が続きました。楽しみにしていた、体育祭や修学旅行が延期や中止となってしまいました。そして、部活動の集大成である、総合体育大会やコンクールなども中止となり、やり場のない怒りや悲しみを抱いたことでしょう。また、学校生活も友だちと距離をとり、マスクをつけ、手洗いや消毒の繰り返しの毎日でした。

皆さんは、この一年、やりたいこと、楽しみなことをたくさん我慢しました。皆さんは、この一年、つらいこと、面倒なことをたくさん耐えてきました。そして皆さんは、この一年、本当によく頑張りました。

たくさんの試練を乗り越えた皆さんには、この「雪に耐え、梅花麗し」の言葉の通り、大きな成長があり、明るい未来が必ずやってくることを確信しています。

今まさしく、五中のテニスコート脇に、白い梅の花が咲いています。この梅の花のように可憐で、しかしながら、はっきりとした強い意思を持った大人になってください。

結びに、今日まで、卒業生の成長に携わっていただいた全ての方々に、厚く御礼申し上げます。式辞といたします。

令和三年三月十二日
市川市立第五中学校 校長 河合 滋

3.11 防災教育の日



3月11日は、東日本大震災から10年目の節目の日でした。朝の全校放送で、教育長からのメッセージを読み上げました。自分の命を守る「自助」、地域の人と助け合う「共助」というキーワードで、地震の被害を最小にすることができます。

今後、首都圏直下型地震が起きる確率は70%と言われています。いつ震災は起きるかわかりません。家族で備えるとともに、いざというときに自分の身を守る行動がとれるよう、心がけておくことも大切です。



教育長のメッセージを放送



金メダリストに学ぶ



2月25日（木）1・2年生を対象にパラリンピックのアスリートによる講演会を行いました。講師の安達さんはゴールボールの選手で、ロンドン大会の金メダリストです。あきらめない心や、仲間との絆の大切さなどを語ってくれました。



パラリンピックの様子



ゴールボールを体験

五中の景色



4階から見える富士山

城山といわれる高台にある五中は、天気の良い日はスカイツリーと富士山を一緒に見ることができます。また、敷地内には多くの樹木があります。今は河津桜 や梅が見頃です。花壇の花も春になり、彩を一層増してきました。



河津桜



梅の花

<文責・河合>